

お 互いに得意なことを教え合っています。まず身近な

ことができればいい」と語るのは、半田市のシルバーPC（パソコン）サークル代表の東岡稔さん（74歳）。「みなさん、個性があつて、そ



▲東岡さん(右端)も気さくにアドバイスを。

れぞれに楽しんでいきますよ」

同サークルは平成二十五年九月、半田市シルバー人材センター会員同好会として十六人で発足。今は趣旨に賛同する人（60歳以上）も参加オーケーで、男女二十三人に。月二、三回の勉強会（雁宿ホール）には、十人前後がノートパソコンを持ち寄り、参加している。

年賀状や名刺、案内状から住

所録、家計簿など、暮しに密着した内容を学び、画像処理や加工、編集など、幅広く技術を交換、習得している。

最年長の森満弘さん（80歳）は、五年前に入会。「何回聞いても忘れてしまう」と笑う。「でも東岡さんは、やさしく何回も教えてくれる」。名刺、年賀状も作った。「会員同士の交流も楽しい」と語る。牧真樹さん（69歳）は、今年四月に入会以来皆勤賞。今は家計簿をパソコンで、ヤフーで情報収集など、毎日一時間ほどパソコンに向かう。

得意なことを教え合う

岡田満子さん（77歳）は、入会して二年。「新しい技術を覚えると達成感がある。みなさんが親切に指導してくれる」と喜ぶ。

名古屋の兄ともメールで近況報



▲「年とっても、パソコンがあると便利です」とパソコンに向かうみなさん。

告をしている。田村芳廣さん（70歳）は、現役時代からパソコンを操作。今はチャットで、世界中にいる日本人と交流。「ニックネームで、自由に情報交換を楽しんでいます」。田村彰さん（72歳）は、同会の事務局を担当。パソコンで会場の空き状況をチェックして申し込みなどのお世話を。現在、還暦・古希の野球チーム半田ゴールドのメンバーで、同チームの記録やHPの制作にもパソコンを駆使して喜ばれている。「老後の生活にもパソコンがあると便利です」と、笑顔で語る。

「今後も楽しみながら、技術を広げていきたい」と、東岡さんは語る。また、年二回ほど行なう食事会、カラオケで、親睦を深めている。会費は出席一回で二百円。

▼東岡稔さん 電話080-5126-2470

